

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年 2月 25日

事業所名 放課後等デイサービス ぴじょん

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12		1日定員10名でのびのびと活動できるスペースを確保しています。	
	2 職員の配置数は適切である	12		常に現場には3人以上のスタッフを配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12		生活空間は、ご利用者様の導線に配慮しています。バリアフリーについてはトイレには手すりを設置しています。	その他のバリアフリー化については、ご利用者様によって必要性がある場合は、検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	12		毎日のフロア、洗面所、トイレ、遊具の清掃を徹底しています。おもちゃや道具の収納も徹底しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	1	月に1度、会議を開き、業務改善を進めるために、広く職員が参加できる場を設けています。	非常勤の方で会議等の参加が難しい方もおられた中、今後も出来るだけ参加できる機会をもうけるように努力します。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12		会議の場を設け、業務改善につなげています。	非常勤の方で会議等の参加が難しい方もおられた中、今後も出来るだけ参加できる機会をもうけるように努力します。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12		ホームページで公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		12		前向きに検討します。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12		月に一度、内部研修の場を設けています。外部研修にも率先して参加しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	12		月に一度の会議にて、スタッフで日頃の様子等話し合いながら課題を分析しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	12			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	12		自立支援、人権擁護等、国のガイドラインに沿った支援を心がけています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	12			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	11	1	月に一度の会議にて、話し合っています。	非常勤の方で会議等の参加が難しい方もおられた中、今後も出来るだけ参加できる機会をもうけるように努力します。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12		個人の成長に合わせた支援のため、個別にプログラムの計画を立てています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	12			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	11	1	支援開始前に連絡事項等を伝え合っている。なお、スタッフが必ず確認する日々の利用表に付箋や赤ペンで周知させている。	スタッフの集合状況により、多少の誤差は生じる時がある。
	18	11	1	支援終了後に連絡事項等を伝え合っている。なお、スタッフが必ず確認する日々の利用表に付箋や赤ペンで周知させている。	スタッフの集合状況により、多少の誤差は生じる時がある。
	19	12		業務日誌を毎日記録し、会議の際に参考になっている。	
	20	12		6ヶ月に1度、見直しの機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	21	12			
	22	12			
	23		12		現時点で該当されるご利用者様がおりません。
	24		12		現時点で該当されるご利用者様がおりません。
	25	12		相談支援員や保護者を介して情報共有を図っています。	
	26	12		相談支援員や保護者を介して情報共有を図っています。	
	27	12		子ども部会で研修や他の事業所の方から助言を頂いています。	
	28	11	1	レクリエーションやイベント等で障がいのない子どもと活動する機会を設けています。	コロナ禍の為、機会は少ないが出来る限り交流もてる場を作れるように心がけていきます。
	29	10	2	都島子ども部会に積極的に参加しています。	コロナ禍の為、機会は少ないが出来る限り参加するように心がけていきます。
	30	12		送迎時やモニタリング、個別支援計画の説明の際にお伝えし共通理解を持つように心がけています。	
31	12		送迎時等、日ごろの保護者様との会話で、悩みや不安が出た場合、ペアレントトレーニングの観点から助言をさせていただきます。		
	32	12		契約時にご説明させて頂いています。	
	33	12			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12		日ごろの保護者様との会話で、子育ての悩みが出た場合、療育の観点から助言をさせていただきます。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		12		今年度は保護者会の実施を予定しておりますが、コロナの感染拡大もあり、様子を見ながら検討していきたいと思っております。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	12		随時、相談や申し入れに迅速に対応させていただいております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12		ホームページから当日の様子やレクリエーションの案内等を掲載しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	12		鍵付き書庫にて管理しています。ご利用者の氏名も4文字表記で統一し万が一の流出でも個人情報を守られるようにしています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12		口頭での意思疎通が難しい方は絵カードや筆談等で対応しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		12		ご利用者様、その親御様のプライバシー等の配慮が出来き、関係者全員が納得できるようにになれば、前向きに検討したい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	12		マニュアルの説明依頼があれば、すぐに説明が出来るように準備しています。	マニュアルは策定しているものの、全ての保護者様に周知、説明が出来ておりません。早急に周知、説明に努めてまいります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12		年に2回避難訓練を行っています。	消防署に依頼し訓練等を企画しましたが、コロナ感染予防の為、今年度は内部の避難訓練のみにとどまっています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	12		契約時にご確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12		保護者より検査結果を提示していただき、昼食やおやつ時に配慮している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	1	月に1度の会議の場で共有しています。	非常勤の方で会議等の参加が難しい方もおられた中、今後も出来るだけ参加できる機会をもうけられるように努力します。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12		年に最低1回は人権擁護をテーマとした外部・内部研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	4		身体拘束の必要性がある場合は、事前に説明し個別支援計画に記載することとします。なお、来年度からは法的な義務化が始まるため、事前の研修等や対策を進めていく予定です。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。